

製品名: CRP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09422**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	CSRP1
別名	CSRP1; CSRP; CYRP; Cysteine and glycine-rich protein 1; Cysteine-rich protein 1; CRP; CRP1
遺伝子 ID	1465.0
SwissProt ID	P21291
免疫原	抗血清はヒト CRP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 51-100

背景

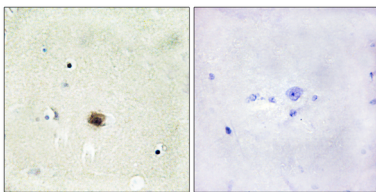
この遺伝子は、システインリッチタンパク質 (CSRP) ファミリーのメンバーをコードしています。この遺伝子ファミリーには、発生と細胞分化に重要な制御プロセスに関与している可能性のある LIM ドメインタンパク質群が含まれています。この遺伝子産物に含ま

れる LIM/ダブルジンクフィンガーモチーフは、遺伝子制御、細胞増殖、および体細胞分化において重要な機能を持つタンパク質に存在します。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010年8月],機能: 神経発生に役割を果たす可能性があります。類似性: LIM 亜鉛結合ドメインを1つ含みます。類似性: LIM 亜鉛結合ドメインを2つ含みます。サブユニット: モノマー,

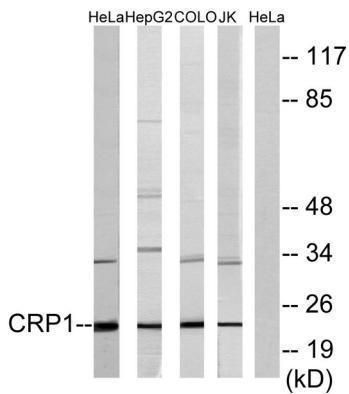
研究分野

-

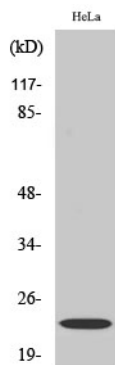
画像データ



CRP1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CRP1 抗体を用いた HeLa 細胞、HepG2 細胞、COLO 細胞、Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した CRP1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット解析。